

取組名称	エシカルタウン・葉山～町民全員で創る、持続可能な新しい常識～			団体設立後の経過年数	100年
応募取組主体名称	葉山町	活動地域	神奈川県葉山町	応募取組の活動年数	12年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

葉山町では、持続可能な循環型社会を目指し、2014年から無料の戸別ごみ収集を開始。町内会と事業者が連携し、町民が世代を超えて分別に参加できる体制を整えました。2019年には官民連携の「はやまクリーンプログラム」で脱プラスチックを推進し、公共施設でのペットボトル販売中止やイベントでの環境配慮行動の申告を義務化。2022年からは「はやまエシカルアクション」を展開し、事業者表彰やエシカル給食、マイタンブラーキャンペーンなどを実施。2025年には生ごみ分別と堆肥化の導入を開始し、一連の取組をSNSや広報紙等で周知し、町民・事業者・行政が一体となった環境ムーブメントを築いています。

実績の要旨

戸別収集と資源回収拠点の整備により、2023年に可燃ごみを30%削減、資源化率は50%超に。脱プラスチックの取組で海岸清掃が日常化し、ビーチクリーンや「リユース市」には毎回100人以上が参加。エシカルアクションには個人668人、事業者・団体197者が賛同し、パートナーは36者に。町公式のオリジナルタンブラーは約1週間でほぼ完売。SNS総フォロワーは6.2万人以上となり、その発信力で、町民・事業者・行政が一体となった環境の輪が広がっています。

取組評価の要旨	環境への貢献	戸別収集や資源回収拠点整備、脱プラスチック施策により、ごみ削減と資源化率向上を同時達成。町全体で自然と共生する循環型社会を実現し、持続可能な環境保全を先導しています。
	社会・経済への貢献	事業者のエシカルな取組を町公式HPやSNSで紹介することで、町民や観光客のエシカル消費を推進。また、事業者と連携してイベントを開催。地域経済の活性化と持続可能な暮らしを両立し、社会全体の意識変革を促進。
	地域資源の活用	はやまエシカルアクション賛同事業者がすでに実践している取組や経験による知恵、実践力を活用し、シンポジウムやキャンペーンを開催。葉山の棚田米から作られた葉山アイスなど、地域の産物を活用したエシカル給食を実施。
	普及・汎用性	全国トップクラスのSNS発信力と町公式HP、広報紙を活用し、施策を広く共有。ハッシュタグを活用し、町民や観光客が自主的に活動写真や体験談を発信する仕組みを形成。
	革新・ユニーク性	表彰制度や、はやまエシカルパートナーのオフ会など、楽しさと実践を両立させた仕組みで、地域ぐるみのエシカルな動きが自然発生的に広がっています。
	継続性	毎年表彰を行うことで、賛同事業者がエシカルな取組を常に意識するような仕組みを構築。賛同事業者とパートナーには1年の実績報告を毎年行っています。

展望の要旨

2035年までに、日本を代表する環境貢献都市として国内外から高く評価される存在となり、全国の自治体が参考にできる「葉山モデル」を構築。